

関係各位

長崎市立東長崎中学校
女子バスケットボール部
顧問 中田富士男・和田直子
コーチ 山崎純男

令和5年度 第5回 ウィンターカップ長崎県予選 結果報告 (初日で終了)

- 1 場 所 祇園中学校
- 2 期 間 令和5年10月21日(土)・22日(日)・28日(土)
- 3 試合結果 別記
- 4 詳 細

選手プロフィール				初日1試合目				Glanz																備考													
#	名	前	年	身長	出身	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	S	時間	FG	FT	点	P	Note	
1	南		②	151	矢上小学校		8	0/2	0/0	0	1																										
2	大水		②	153	矢上小学校	S	26	2/9	0/0	5	0																										
3	藤川		②	151	矢上小学校		5	0/6	0/0	0	0																										
4	松山		②	157	矢上小学校	S	23	4/16	2/4	10	1																										
5	松井		②	163	高城台小学校	S	24	5/11	3/4	14	1																										
6	濱内		②	152	高城台小学校		8	1/3	0/0	2	0																										
7	平石		②	153	高城台小学校																																
8	黒川		①	156	古賀小学校	S	2	1/2	0/0	3	0																										
9	林		②	164	高城台小学校		8	1/3	0/0	2	1																										
10	松尾		①	150	矢上小学校	S	9	0/3	0/0	0	1																										
11	袋良		①	152	高城台小学校		14	1/8	0/0	2	0																										
12	溝上		①	150	古賀小学校		13	1/2	0/0	2	0																										
13	吉田		①	154	高城台小学校		20	2/6	0/0	4	0																										
14	辻山		①	160	高城台小学校																																
18	瀬川		②	164	高城台小学校																																
15																																					
16																																					
17																																					
					1P	160	12			19	0						0						0														
	左	東長崎			2P		8			29																											
	右	相手チーム			3P		12			8																											
					4P		12			10																											
					計	●	44			66																											
					○=勝ち ●=負け																																

5 所 感
初日(21日)で終了

このところHPにも6日連続で1ヶ月ぶりに復帰したユウナの記事ばかり扱って他の選手のことに触れていないのは申し訳ないのですが、ユウナが戦力として重要だからという意味ではなくこれほどの目に遭った選手が復帰してきた裏には我々の想像できないいろいろなことがあったらろうということ全国のコーチや選手に語らなければならないだろうと思ひからなのです。

ユウナがスタメンで登場したのは8月19日のコヤスポカップ初日の初戦に15分出場して以来2ヶ月ぶりです。その間対外試合はおろかチーム練習にも参加できない日々が続きました。どんな症状なのかは個人情報なので詳細は述べられませんが、普通そんな思いをした選手が復帰するのはとても難しいことだと思います。

復帰といえば、私は3年半前にステージ4の胃ガンで胃を全部取ってしまう手術を受けました。その後抗癌剤治療をするかどうか主治医と相談している時期に、水泳の池江璃花子選手が急性リンパ性白血病に罹り、抗癌剤治療を受けている最中だったので私は主治医が勧める抗癌剤治療を断りました。私にとってはあと何年生きられるかよりもあと何年コートに立てるかが重要だったからです。抗癌剤はガン細胞と闘ってはくれますが私の体力も奪います。当然その間コートには立てません。ユウナの症状は私や池江選手のように命を削る闘いではありませんが、「私はバスケットができるようになるのだろうか」という不安はあったはず。今日はユウナがその第1段階を乗り越えたことを祝い、これから第2・第3段階を超えていくためにさらに尽力したいと思います。

私は術後1年間は毎月1回検査を受けました。ガン細胞が転移していないかどうかの検査です。検査は血液検査とCT検査です。私の胃ガンは手術時に胃の周囲にたくさんへばりついているリンパ節のいくつかにガン細胞が転移していたのでそれが他の部位に転移していないかと主治医は心配して術後検診と抗癌剤治療を勧めたのです。しかし、抗癌剤治療をせずに術後1年経っても転移は見られなかったので翌年は3ヶ月に1回の検診となり、3年目以降は半年に1回の検診となりました。血液検査の結果の腫瘍マーカーの数値は基準値以下をキープしています。主治医は「山崎先生の身体はどうなっているのだろうか」と首をかしげています。文責：山崎